



発行 日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

子どもたちの居場所と指導員の雇用守れ！ 学童保育を守る運動広がる

放課後児童クラブの運営が、民間株式会社トライに委託されようとしている中「春日部の学童保育を守ろう」という運動が大きく広がっています。

学童保育は大切な居場所

春日部市の学童保育は、父母たちの自主運営が始まってから50年、春日部市が実施主体となり、社会福祉協議会に運営を委託してからでも20年の歴史があります。働く父母の労働を保障し、

子どもたちの遊びと生活を守る大切な居場所です。

また、指導員は、一人ひとりの子どもと向き合い、寄り添って、豊かな育ちを見守る役割を担っています。市社会福祉協議会が放課後児童クラブの運営から撤退することで、パートを含めて160人もの指導員が、何の落ち度もなく解雇されようとしています。

1万6522筆の署名(1次分)提出

放課後児童クラブ父母会連絡会、学童保育指導員労働組

合は「子どもたちの成長、父母の働く権利、指導員の雇用を守る要望書名」に取り組んでいます。すでに11月20日、第1次分として1万6522筆の署名を提出し、現在2万筆を超えました。

この署名は、父母、指導員が自らのつながりに協力してもらいながら、学校行事で集めたり、街頭スタンディングや駅頭で訴えるなど、広く市民に訴えて共感を集めています。また、全県・全国の公務労働者から、「学童保育を営利企業の儲けの対象にするな」160人もの指導員の解雇



春日部東口で署名を訴える父母と指導員

は許されない」と怒りの連帯が広がっています。

「雇用を守って」と指導員涙の訴え

日本共産党春日部市議団は、11月23日「春日部の学童保育を考える市民学習会」をおこない、大東文化大学特任教授の渡辺恵津子氏を講師に、『学童保育とは何か』について学びました。

当日は、放課後児童クラブ父母会連絡会や指導員の代表も参加し、「子どもたちは学校に窮屈さを感じたり、家庭が困難を抱えていたりします。ありのままの自分をさらけ出し、異年齢集団で育ちあう大切な居場所を守ってほしい」「指導員は、これからどうなるのか不安でたまりません。雇用を守ってほしい」と声を詰まらせながら訴えました。

松本ひろかず議員一般質問

ふるさと納税・返礼品
市外製造の桐箆筒も送付



4日、松本ひろかず議員は、①ふるさと応援寄附金の返礼品は適正なものを、②豊野・赤沼地域活性化のために環境センターに温水プールなどの複合施設建設を、について一般質問をおこないました。

伝統的工芸品としての価値を低める行為

08年からはじまった「ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）」は、地域の活性化

年度	寄附件数	寄附金額
2008年	春日部市は実施せず	
2009年～	4件～	107万円～
2014年	8件	305万円
2015年	1442件	1935万3710円
2016年	3585件	6933万3100円
2017年	3192件	1億922万8000円
今年10月	305件	472万6000円

化を目的として始まりまし
た。
春日部市では09年度から
14年度までは返礼品があり
ませんでした。15年度か
ら返礼品を実施し、30万円
以上の寄附者への返礼品の
ほとんどは総桐箆筒で、16
17年度に送付された総桐箆
筒は174件でした。

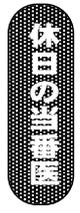
寄附金額	寄附者数
1万円未満	2人
1～2万円未満	5839人
2～3万円未満	620人
3～30万円未満	144人
30～50万円未満	57人
50～80万円未満	39人
80万円以上	78人
最高額2016年度	210万円 1人
2017年度	160万円 1人

松本ひろかず議員は「2
年間で174件もの総桐箆
筒を市内で製造することは
できない。総桐箆筒の協力
事業者は、春日部桐タンス
組合と、飯島桐箆筒製作所
の2つ。組合が取り扱った
ものがほとんどで、どこで
製造されたものかわからな
い。組合長はさいたま市に
在住し、「市内在住」「市
内で製造、加工」という要
件を満たしていない。総桐
箆筒は40万円以上でなけれ
ば製造できず、30万～50万
円の寄附者には送付できな

産業団地建設・東埼玉道
路開通に合わせて建設を

いはず。伝統的工芸品とし
ての価値を低め、市の信用
を失墜させる。寄附者に真
実を知らせ対応すべき」と
質しました。
市長は「ふるさと納税の
趣旨にそつてすすめている」
と答弁しました。松本ひろ
かず議員は「市の信用を回
復し、伝統的工芸品製造者
のみなさんの怒りに応える」
よう強く求めました。

今後、数年以内に
赤沼地域に東埼玉道
路の開通と、産業団
地の建設が想定され
ています。これに合
わせて環境センター
の余熱利用暫定広場
に、温水プールなど
の複合施設を建設す
るよう提案しました。



市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 救急電話相談 #7119 またはTel.048-824-4199
12/16(日) 木田内科医院(内科系)中央1-11-4 電話763-0183 グレース家庭医療クリニック(小児科系)
大倉610-10 電話718-0107 梅原病院(外科系)小淵455-1 電話752-2152
12/23(日) 八木崎診療所(内科系)粕壁6973-1 電話752-2195 中村医院(小児科系)西金野井280-4
電話746-0200 小笠原医院(外科系)新宿新田319-2 電話746-0088